# 外国出張報告書

平成 28 年 1 月 20 日

1. 出張国名　　タイ

2. 出 張 月　　平成 27 年 11 月～12 月

3. 出張目的　　1.　ワークショップ開催準備と成果発表ならびに森林の炭素蓄積能力推定法課題の打合せ評議：C
　　2.　森林生態系の炭素収支解明および省力化手法の開発に係る現地調査（「森林観測」）：C

4. 成果の概要

持続的林業プロジェクトの 5 年間の成果発表として「Workshop on Improvement of Utilization Techniques of Forest Resources to Promote Sustainable Forestry in Thailand」を開催した。開催にあたり、会場の準備、要旨集の編集、出版をおこなった。また、ワークショップ当日には司会進行をおこなうとともに、「Development of allometric equation to estimate biomass and carbon stock in young teak plantation in Thailand」のタイトルで口頭発表をおこなった。また、CP と話しあい、平成 28 年 2 月に現存量推定方法を CP や森林所有者に対してセミナーをおこなうことを決定した。

「森林観測」では、Nakhon Ratchasima 県 Sakaerat 造林研究ステーション、Ratchaburi 県 Ratchaburi 造林研究ステーションで調査をおこなった。Sakaerat 造林研究ステーションでは調査区内に出現する天然更新由来の樹木について位置の記録、樹種の同定、幹の胸高直径の測定、樹高の測定をおこなった。調査の結果、Plot B と Plot C では 15 種類もの木本種を確認した。Ratchaburi 県 Ratchaburi 造林研究ステーションでは新規に調査区を設定し、モニタリング調査を開始した。